



上手に切れるかな



完成までもう少し…

## 親子で料理を楽しもう 「親子栄養教室」

8月5日、市保健センターで親子栄養教室が開催され、9組の親子が参加しました。

この日のメニューは、カラフルいなり寿司、青菜のいなり巻き、お味噌汁、大豆で作るチキンナゲット、トマトあめ。グループごとに自己紹介をした後に調理工程などの説明を受け、調理がスタートしました。

お母さんたちに包丁の握り方や野菜の切り方を教えてもらい調理に取り組みましたが、包丁を握るとちょっと緊張した様子。

完成後は作った料理を食べ、「おいしいね」と満足そうでした。

## FC DATE、市長へ準優勝の報告

7月22日、「第38回全日本少年サッカー大会北海道大会」に出場したFC DATEが準優勝の報告のほか、「第46回道新スポーツ旗全道サッカー少年団大会」への出場にあたって市長への挨拶のため来庁。

小学校4年生から6年生の児童22名が、トロフィーや賞状を持参しました。

キャプテン本多英二くん（伊達西小学校6年生）は「厳しい戦いでした。でも、この経験を次に生かしてがんばりたい」と、力強く話してくれました。



市長・副市長との記念撮影

モデルって、大変…



## だてコレ ～伊達の魅力を楽しもう～

7月中旬、市内では初の試みとなる「だてコレ～伊達といえばコレ！秋の体験プログラム～」の撮影が3日間にわたり行われました。だて観光協会が、市内外の方に伊達市の豊かな大地の恵みと観光資源を楽しんでもらおうとユニークな体験プランを企画。

畑でどうもろこしを収穫するコース、写経や座禅体験をするコースでは、モデルに市内の子どもたちやご夫婦が協力しました。意外と知らない伊達の魅力に、楽しそうな様子を見せていました。

## 上手に作れたよ 「夏休み子ども工作教室」

8月1日、市図書館で夏休み子ども工作教室が開催され、市内の小学生など10名が参加しました。

今回は「輪ゴムエコカー」作りを体験。カッターや千枚通しなど、普段あまり使う機会のない道具に悪戦苦闘しながらも、図書館職員やお母さんに手伝ってもらい、なんとか作り上げました。

完成後、実際に作った作品を走らせると、「こんなに速く走ったよ！」と嬉しそうな表情を見せていました。



切ったりくっつけたり、難しいな～

エピペン注射器を太ももに打つ練習



## 迅速な行動を！ 「アレルギー研修会」

7月23日、市役所で市内の小中学校と幼稚園の先生を対象にしたアレルギー研修会が胆振西部医師会坪会長の協力のもと開催され、32名が参加しました。

いぶり腎泌尿器科クリニックの坂東昌志さんを講師に迎え、食物アレルギーなどが原因で発症するアナフィラキシーの症状や対処方法の説明が行われた後、実際にエピペン注射器の練習用トレーナーで使い方を体験。「アナフィラキシーの症状が見られたときは、すぐに打つことが重要」と学んでいました。



## 「チャレンジ！カヌー体験講習会」

8月6日、市体育協会主催の「チャレンジ！カヌー体験講習会」が行われ、13名の小中学生が参加しました。

この催しは「水の安全教室」と兼ねていたため、水の事故の予防やライフジャケットの使い方、水に落ちたときの対処法などの説明のあと、カヌーを操るためのパドルの扱いを習い、いざ海へ。

最初は、上手くパドルが使えずぐるぐる回る子もいましたが、徐々にコツをつかみ、先生の指示する方にゆっくりとした動きながらも確実に進めるようになりました。

最後には、一列に並んで笑顔を見せる余裕も出て、夏の良い思い出になったようでした。



一列に並んで、ハイポーズ！



パドルの扱いには力も必要